



手帳長についておもうこと

「手帳を使いこなせない」

私もそうですが、漠然と「今よりも、いい使い方があるはず」

そう思っている人、おおいです。

単にスケジュール管理だけで手帳を使っている人は、使い方が決まっているので

使い方の悩みが「少ない印象」

タスク管理、持ちログメモソタリ、手帳の空白がどうしても気になまって「う「ち」と欲ばり」

になると、手帳の使い方が「悩み、使いこなせないんだー！」ってなツカチ。

私のtwitterのTL上では不定期だけどこういうものをみかける。

「手帳は、使いこなせずともよい」

どうそう、そもそも別に手帳なんて使わなくてもいいんだよ、頭で覚えるのが「大変だから、紙、または電子デバイスに情報をほろこもう、てだけの道具」

手帳は、はじめに予定や、自分のやりたいことなんかを手助けする道具であって、手段。

びいしと陽なくかきこんで見た目もきれいな手帳、て楽しい、達成感ある。

でも、手帳は単なる手段。

目的は行動することであつたり、あた「やかに日々を過ごすことであつたり、様々な想ひ、願ひ、

をねえ、と、と支えるのが、道具としての手帳と自分のいい関係だと私は思う。

時折、手帳をぶっかえって手もかけろつた「バスト」けど、雑にかいても、真直なページばかりでも

思ひたつた時に、新たなページに向かえばいいんだよ。